

作成日 2020年11月24日

安全データシート

製品名 C.A.W 樹脂コート(ブラック)

1. 製品及び会社情報

製品名 : C.A.W 樹脂コート(ブラック)
品番 : CT-29
供給者の会社名称 : 中央自動車工業株式会社
住所 : 大阪市北区中之島4丁目2番30号
担当部門 : 商品開発部 研究開発グループ
電話番号 : 06-6443-5846
FAX番号 : 06-6445-8573
整理番号 : 6038-1

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 : 引火性液体 区分2
皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
皮膚感作性 区分1
生殖毒性 区分1
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2(中枢神経系、全身毒性)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分2(血液系)
誤えん有害性 区分1
水生環境有害性 短期(急性) 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) 区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体および蒸気
H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H371 臓器(中枢神経系、全身毒性)の障害のおそれ
H373 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(血液系)の障害のおそれ
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性
H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P233 容器を密閉しておくこと。
 P240 容器を接地すること、アースを取ること。
 P241 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
 P242 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P264 取扱い後、手をよく洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

- P301+P310+P331 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。
 P303+P353+P333+P313+P361+P364 皮膚(または髪)に付着した場合:皮膚を流水、シャワーと石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 P305+P351+P338+310 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 P308+P313 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断、手当を受けること。
 P314 気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
 P370+P378 火災の場合には適切な消火方法をとること。
 P391 漏出物を回収すること。

【保管】

- P403+P235+P405 容器を涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

- P501 内容物や容器を都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 :混合物
 含有成分及び含有量

物質名	含有量(%)	毒劇法No.	安衛法No.	化管法No.	CAS No.
シラン化合物	30 - 40	非該当	非該当	非該当	非公開
シリコーン溶剤	20 - 30	非該当	非該当	非該当	非公開
イソパラフィン系溶剤	20 - 30	非該当	非該当	非該当	非公開
※オクタン	20 - 30	非該当	115	非該当	非公開
※ノナン	1 - 4	非該当	432	非該当	非公開
※ヘキサン	1 - 4	非該当	520	非該当	非公開
※ヘプタン	1 - 4	非該当	526	非該当	非公開
触媒	< 10	非該当	非該当	非該当	非公開
イソプロピルアルコール	1 - 4	非該当	494	非該当	67-63-0
カーボンブラック	< 1	非該当	130	非該当	1333-86-4

※イソパラフィン系溶剤に含まれる安衛法該当物質である。異性体を含むためCAS No.は特定できない。

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、保温して安静を保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 嘔吐がある場合は頭を横向きにして嘔吐物を飲み込ませない様にする。
 気分が悪い場合は医師に連絡する。
 意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。

	汚染された衣類や保護具を取り除く。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類を速やかに脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹼で十分に洗う。 外観の異常や痛みがある場合は必要に応じて医師の診察を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な流水で数分間注意深く洗う。容易に外せる場合はコンタクトレンズを外して洗眼する。 まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。 眼の刺激が続く場合は眼科医による診察と手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 揮発物を肺に吸引する恐れがあるため無理に吐かせない。 口腔内を水洗し、直ちに医師の診察を受ける。 意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。 子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断、手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 高濃度のばく露では、目、鼻、のどに刺激を引き起こす。眠気、頭痛、協調運動不能を引き起こす。皮膚への長期のばく露では、脱脂性があり、乾燥、ひび、皮膚炎を引き起こす。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	: 救助者が有害物質に触れないよう手袋やマスクなど、適切な保護具を使用する。
医師に対する特別な注意事項	: 特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
火災時の特有の危険有害性	: 当該製品の燃焼ガスには、一酸化炭素等のほか、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法	: 消火作業は、風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 可燃性のあるものを周辺から速やかに取り除く。 容器は速やかに安全な場所に移す。困難な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も多量の水を用いて、十分に容器を冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 消火作業では、皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 屋内で漏出した場合は、窓、ドアを開けて十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際、皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
環境に対する注意事項	: 洗浄した水等は地面や排水溝にそのまま流さない。 下水等に入り込まないように注意する。
除去方法	: 少量の場合は、土、砂、土砂、乾燥砂、ウエス等に吸収させ、密閉できる空容器に回収する。 多量の場合は、土砂・土のう等で流出を防ぎ、安全な場所に導いて回収する。 廃棄物は、関連法規等に基づいて処理する。
二次災害の防止法	: 漏出時は速やかに関係機関に通報する。 付近の着火源となるものや高温帯及び可燃物を速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 換気の良い場所で使用する。
 皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用する。
 蒸気及び噴霧されたミストを吸い込まないようにする。
 周辺での火気、スパーク、高温物の使用は避ける。
 作業中は、飲食または喫煙をしない。
 取扱い後は、手洗い、うがい、洗顔等を十分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
- 保管
 適切な保管条件 : 容器はその都度密栓する。
 直射日光の当たる所や高温になる所や湿気の多い所を避ける。
 風通しの良い冷暗所に施錠して保管する。
 周辺での火気、スパーク、高温物との接触する場所を避ける。
 強酸化剤から離して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度等

物質名 (CAS No.)	管理濃度	許容濃度 Threshold limit value	
		日本産業衛生学会 (2019年度版)	ACGIH (2019年版)
イソパラフィン系溶剤	-	-	TWA 1,200 mg/m ³
※オクタン	-	-	TWA 300ppm
※ノナン	-	-	TWA 200ppm
※ヘキサン	-	-	TWA 500ppm STEL 1000ppm
※ヘプタン	-	-	TWA 400ppm STEL 500ppm
イソプロピルアルコール (67-63-0)	200ppm	400ppm (980 mg/m ³)	TWA 200ppm STEL 400ppm
カーボンブラック (1333-86-4)	-	1.0 ^{Inhalation} , 4.0 ^{All} mg/m ³	TWA 3.0 mg/m ³

※イソパラフィン系溶剤に含まれる安衛法該当物質である。異性体を含むためCAS No.は特定できない。

- 設備対策 : 屋内は全体に換気する。
 換気の悪い場所及び蒸気の発生の多い場所には局所排気装置を設ける。
 屋内作業場で多量に使用する時は、蒸気が滞留しないように、排気装置を設ける。
 取扱い場所の近くに(安全シャワー、洗眼、身体洗浄)のための設備を設ける。

- 保護具
 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 目の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚の保護具 : 保護衣、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 混濁液体
 色 : 黒色
 臭い : 特異臭
 融点/凝固点 : データなし
 沸点、初留点と沸騰範囲 : 64.1°C
 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
 引火点 : -12°C
 自然発火点 : データなし
 pH :
 動粘性率 : データなし
 溶解性 : 水に不溶
 n-オクタノール/水分配係数 : データなし
 蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度 : 0.81 ± 0.05
相対ガス密度 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱い条件において安定
危険有害反応可能性 : データなし
避けるべき条件 : 高温、熱源、裸火への暴露
混蝕危険物質 : 強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性－経口

製品 : 区分外(ただし、混合物の40 - 50%は毒性が未知の成分からなる。)
シリコーン溶剤 : LD_{Lo} 8 mL/kg(ラット)
イソパラフィン系溶剤 : LD₅₀ >= 7 g/kg(ラット)
イソプロピルアルコール : LD₅₀ 4,384 mg/kg(ラット)

急性毒性－経皮

製品 : 区分外(ただし、混合物の40 - 50%は毒性が未知の成分からなる。)
シリコーン溶剤 : LD₅₀ 16 mL/kg(ウサギ)
イソパラフィン系溶剤 : LD₅₀ >= 5 g/kg(ウサギ)
イソプロピルアルコール : LD₅₀ 12,870 mg/kg(ウサギ)

急性毒性－吸入

製品 : 区分外(ただし、混合物の40 - 50%は毒性が未知の成分からなる。)
シリコーン溶剤 : LC₅₀ 15956ppm /4h(ラット)
イソパラフィン系溶剤 : LD₅₀ >= 5 mg/L/4h(ラット)
イソプロピルアルコール : LD₅₀ 68.5 mg/L(ラット)

皮膚腐食性/刺激性

製品 : 皮膚刺激(区分2)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品 : 重篤な眼の損傷(区分1)

皮膚感作性

製品 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1)

生殖毒性

製品 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれ(区分1B)

特定標的臓器毒性(単回暴露)

製品 : 臓器(中枢神経系、全身毒性)の障害のおそれ(区分2)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

製品 : 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(血液系)の障害のおそれ(区分2)

誤えん有害性

製品 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ(区分1)

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

製品 : 水生生物に非常に強い毒性(区分1)
イソプロピルアルコール : LC₅₀ > 100 mg/L/96h(ヒメダカ)

水生環境有害性 長期(慢性)

製品 : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性(区分1)
残留性・分解性 : データなし
生態蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
容器、機械装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝にそのまま流さない。
空容器は、内容物を完全に除去した後に廃棄する。
その他関連法規の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 1993
品名(国連輸送名) : 引火性液体,N.O.S.
国連分類 : クラス3(引火性液体)
容器等級 : II
海洋汚染物質
X類物質 : イソパラフィン系溶剤(オクタン、ノナン、ヘプタン)
Y類物質 : シリコーン溶剤、イソパラフィン系溶剤(ヘキサン)
Z類物質 : イソプロピルアルコール
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
: “取扱い及び保管上の注意”の項の一般的注意に従う。
容器は漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
引火性液体なので「火気厳禁」。
水漏れ・横積み厳禁。
容器は温度上昇を抑制するものである必要がある。
国際規制
海上／航空輸送 : IMO規定、ICAO／IATA規定の定めるところに従う。
国内規制
陸上輸送 : 消防法の定めるところに従う。
海上／航空輸送 : 船舶安全法、航空法の定めるところに従う。
緊急時応急措置指針番号 : 128

15. 適用法令

消防法 : 危険物 第四類 第一石油類(非水溶性) 危険等級II
毒物及び劇物取締り法 : 非該当
労働安全衛生法
危険物 : 引火性の物
特定化学物質障害予防規則 : 非該当
有機溶剤中毒予防規則 : 非該当
第二種有機溶剤等 : 非該当(イソプロピルアルコールおよびヘキサンは含有量が規制値の5%に満たないため)
表示対象物質 : イソプロピルアルコール、オクタン、ノナン、ヘキサン、ヘプタン
通知対象物質 : イソプロピルアルコール、カーボンブラック、オクタン、ノナン、ヘキサン、ヘプタン
化学物質排出把握管理促進法 : 非該当
船舶安全法 : 引火性液体類
航空法 : 引火性液体
海洋汚染防止法 : ブテンオリゴマー、有害液体物質(X類物質、Y類物質、Z類物質)

16. その他の情報

1. 配合原料メーカー発行の安全データシート
2. GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

(2019年6月、一般社団法人 日本化学工業協会 編集、一般財団法人 日本規格協会 発行)

3. 各関連法規

4. 安衛法通知対象物質についてのモデルSDS情報(安全衛生情報センター)

安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものです。

混合物である製品の危険・有害性情報は、個々の原材料の危険・有害性情報から推定したものです。

取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようにお願いします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。